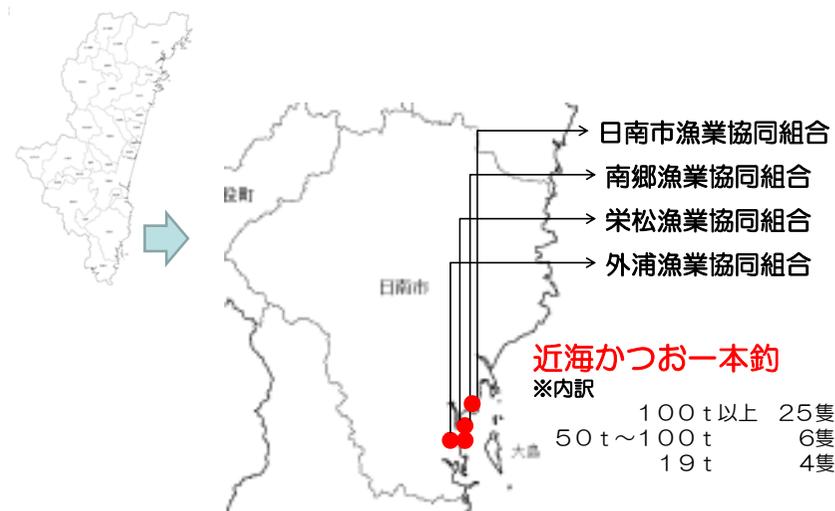


近海かつお一本釣漁業の現状並びに 小型化したかつお一本釣漁船の導入とその後



日南市漁業協同組合
吉村富士男

日南市内の漁協の概要

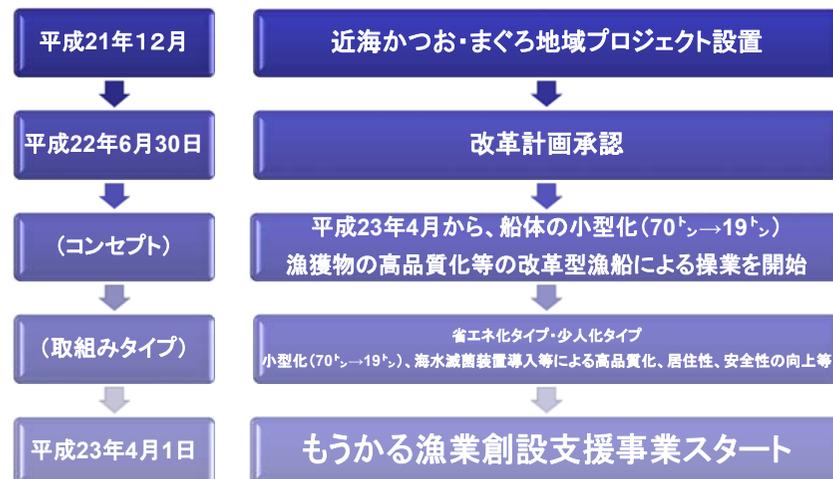


近海かつお一本釣漁業の現状

	全 国	宮 崎 県
平成20年 4月	71隻	36隻
平成24年 8月	65隻	35隻

操業タイプ	操業海域	船 体
西 沖	南西諸島及び九州西方海域	100t未満(70tクラス・19t)
東 沖	南西諸島及び房総沖・三陸沖	100t以上(119tクラス中心)

海洋水産資源開発事業の成果に基づく 漁業構造改革プロジェクトの取り組み



短期航海による高鮮度カツオ

近場の漁場を選択し、短期航海とすることで単価が向上

さらなる単価向上を目指して・・・

魚箱に船名を明記したステッカーを貼って出荷

近隣かつお一本釣り
殺菌冷海水使用
第五松徳丸
宮崎県日南市



かつお一本釣漁業の『新たな取組み』

「もうかる事業創設支援事業」により70トから19ト型船へ 転換2隻



第三宝漁丸

平成23年3月進水



第28進漁丸

平成23年2月進水

今後の日南地区の課題

宮崎県船のうち南西諸島から三陸沖で操業を行う船が7割（25隻）を占める

船体は大型化し、すべて100ト以上であり船齢の高い船も含まれている

しかし、現在、国内で100ト以上のかつお船を建造できる造船所がない

東沖の次世代型の船体（100ト未満）と操業スタイルの構築が急務である